

研究計画書

ゼミ名	春日ゼミⅡ	チーム名	アミティ島
タイトル	ユニバ発展の秘密と今後		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	上坂優衣 金本溪 笹倉圭梧 陶国将太 谷拓樹 平野翔大 福島舞子 松浦智仁 三木晴貴		
研究計画内容	<p>2014 年度、関西を代表するテーマパーク“ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(以下 USJ)”が、過去最高の入場者数を記録しました。</p> <p>2001 年に開業し、ピーク時は年間入場者数 1100 万人を達成したものの、その後は 750 万人台にまで落ち込み、集客不足、リーマンショック、東日本大震災後に日本全国を覆った自粛ムードが重なり、USJ は一時窮地に立たされました。倒産の危機さえ囁かれた USJ が、ここ数年で業績を急上昇させ、奇跡の V 字回復を果たした戦略とは如何なるものなのでしょうか。近年立ち上げた新エリアによる経済効果等について、比較対象として東京ディズニーランドを挙げ、今後 USJ が与える経済効果について考察します。</p> <p>バイオハザードやスパイダーマンといった映画の世界を体験できるテーマパーク、これが USJ の魅力の一つですが、開業数年後、入場者数は伸び悩んでいました。状況が転じたのは 2011 年、キーワードは「両輪戦略」でした。この戦略によって、リピーターの獲得に成功した USJ には、関西依存の集客体制からの脱却、首都圏や海外からの集客が見込め更なる新施設が必要でした。それが「THE WIZARDING WORLD OF Harry Potter」です。</p> <p>今後 10 年間で USJ は大阪を含む関西経済に更なる経済効果を与え、建設予定である沖縄にも莫大な経済効果を与えると言われていています。今年 9 月末、米メディア大手コムキャストが USJ の運営会社となった影響についても、業績回復の契機となった日本アニメやゲームを取り入れたイベントやアトラクションといった「日本独自路線」の維持は可能なのか、宣伝効果は見込めるのか、といった観点から研究していきたいと思えます。</p>		